

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 30 日

奈良市長 殿

提出者

住所 奈良県奈良市西九条町4丁目2番地2

氏名 大和ハウス工業株式会社 奈良工場

工場長 西本 武志

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-64-1500



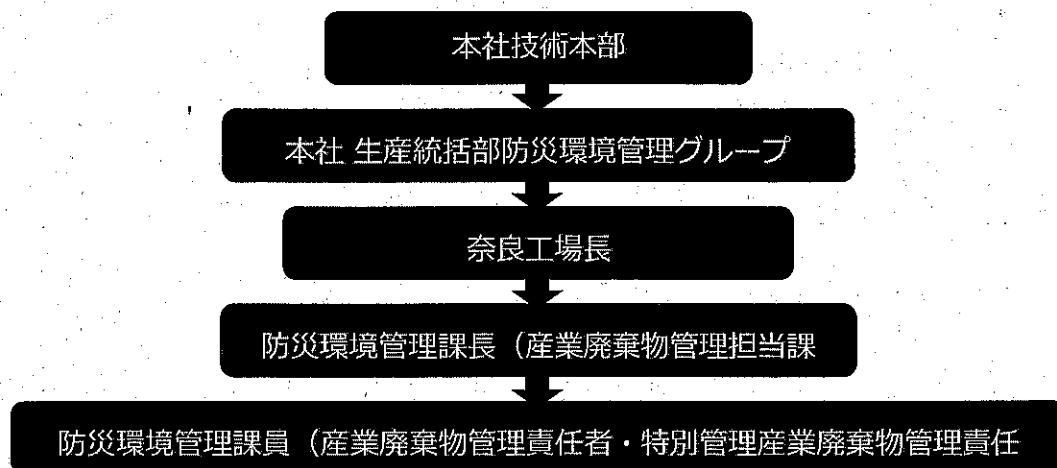
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 奈良工場
事業場の所在地	奈良県奈良市西九条町4丁目2番地2
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	(日本標準産業分類の区分を記入すること) E24 金属製品製造業
② 事業の規模	(業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること) 2025年度 工場売上高 52,270百万円
③ 従業員数	473 人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【工場生産活動にて発生する廃棄物】 ・汚泥：再生利用業者へ処理委託し再資源化（路盤材等） ・廃油：再生利用業者へ処理委託し再資源化（サマルリサイクル） ・廃酸、廃アルカリ：再生利用業者へ処理委託し再資源化（サマルリサイクル） ・廃プラスチック類：再生利用業者へ処理委託し再資源化（RPF用原料） ・木くず：再生利用業者へ処理委託し再資源化（RPF用原料） ・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ処理委託し再資源化（路盤材等）

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (2025 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	排 出 量	1,183.02 t	260.75 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	排 出 量	243.42 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
③ 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 42に分類して分別を実施している。(奈良工場 廃棄物管理要領)		
④ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 有価物化の拡大展開。		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 42に分類して分別を実施している。(奈良工場 廃棄物管理要領)		
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	・ 有価物化の拡大展開。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	19.2 t	25.7 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	・木くず - 良品及びチップ材として使用可能な木材を選別し購買先に有価物としての売却を継続活動。 ・廃プラ - ストレッチフィルム（ポリエチレン）およびPPバンドを選別し有価物として売却を継続して実施。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0 t	0.0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	18.2 t	27.0 t
(今後実施する予定の取組)			
・廃プラ - 生産材の一つであるGWの包装用ビニールを選別し圧縮機による有価物化が見込めるため、増加予定。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2025 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2025 年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類	
	全処理委託量		t	
	優良認定処理委託量	別紙の通り		
	再生利用処理委託量			t
	認定熱回収処理委託量			t
	認定熱回収熱回収を行った処理委託量			t
	(これまでに実施した取組)			
	【工場生産活動にて発生する廃棄物】			
	・汚泥：再生利用業者へ処理委託し再資源化（路盤材等） ・廃油：再生利用業者へ処理委託し再資源化（サマルリサイクル） ・廃酸、廃アルカリ：再生利用業者へ処理委託し再資源化（サマルリサイクル） ・廃プラスチック類：再生利用業者へ処理委託し再資源化（RPF用原料） ・木くず：再生利用業者へ処理委託し再資源化（RPF用原料） ・ガラスコンクリートくず及び陶磁器くず：再生利用業者へ処理委託し再資源化（路盤材等） ・22年1月～石膏ボード廃棄物からの異物除去のための作業ヤード確保に向け廃プラ複合と廃プラ付着金属を統合し処理委託先を集約。			

② 計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類		
	全処理委託量			t
	優良認定処理 処理委託量	別紙の通り		t
	再生利用業 処理委託量			t
	認定熱回収業 処理委託量			t
	認定熱回収業 熱回収を行う委託量			t
	(今後実施する予定の取組)			
	・ 廃プラのマテリアルリサイクル率向上に向け、 廃プラ（RPF）の委託先に樹脂パレットへのリサイクルが 可能な処理先を加え（2022.11より）継続活動。 ・ 塩ビ管および溶接用空リールを有価物を継続活動。			
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請工事完成高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書 別紙

氏名又は法人名	大和ハウス工業株式会社奈良工場	担当者氏名	萩原 かな子
報告者所属部署	防災環境管理課	電話番号	0742-64-1514

産業廃棄物の種類	(第2面)		(第3面)		(第4面)	(第4～5面)			
	実績 計画	排出量	自ら再生利用を 行った量	自ら熱回収を 行った量	自ら中間処理に より減量した量	全処理委託量 (自動計算)	(処理先の区分)		
					白ち埋立又は 海洋投入した量		優良認定業者	再生利用業者	認定熱回収業者
1 汚泥	前年 実績	269.18t			0.00t	269.18t	269.18t	0.00t	0.00t
	計画	255.73t			0.00t	255.73t	255.73t	0.00t	0.00t
2 ガラスくず等	前年 実績	1,505.87t			0.00t	1,505.87t	984.11t	0.00t	984.11t
	計画	1,430.57t			0.00t	1,430.57t	934.91t	0.00t	934.91t
3 管理型混合廃棄物	前年 実績	62.72t			0.00t	62.72t	0.00t	0.00t	0.00t
	計画	59.58t			0.00t	59.58t	0.00t	0.00t	0.00t
4 木くず	前年 実績	1,183.02t			19.18t	1,163.84t	1,163.84t	0.00t	0.00t
	計画	1,123.86t			18.60t	1,105.26t	1,105.26t	0.00t	0.00t
5 金属くず	前年 実績	163.82t			0.00t	163.82t	63.53t	0.00t	0.00t
	計画	155.63t			0.00t	155.63t	60.35t	0.00t	0.00t
6 廃酸	前年 実績	20.05t			0.00t	20.05t	20.05t	0.00t	0.00t
	計画	19.05t			0.00t	19.05t	19.05t	0.00t	0.00t
7 廃アルカリ	前年 実績	34.00t			0.00t	34.00t	34.00t	0.00t	0.00t
	計画	32.30t			0.00t	32.30t	32.30t	0.00t	0.00t
8 廃電池類	前年 実績	0.00t			0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t
	計画	0.05t			0.00t	0.05t	0.05t	0.00t	0.00t
9 廃プラスチック類	前年 実績	260.75t			25.71t	235.04t	186.44t	0.00t	0.00t
	計画	243.42t			26.99t	216.43t	177.12t	0.00t	0.00t
10 廃油	前年 実績	85.58t			0.00t	85.58t	78.58t	0.00t	0.00t
	計画	71.12t			0.00t	71.12t	74.65t	0.00t	0.00t

Confidential

(別紙)